

大きな夢をもち
本気でやってみよう



視点1

<五中学区学校教育目標>

郷土を愛し たくましく生きる子

三保一小 教育目標

三保二小 教育目標

自ら学び 高め合って
やりぬく子

ひとり立ちする子

軸となる取組

郷土愛・主体性・協働性を育む

三保・折戸学の推進

9年間の連続性、
系統性を強化した
教育課程の編成

視点2

協働・交流
のある教育

視点3

地域との連携

視点4

小中の一貫した
支援・指導の実践

子どもの実態

良さ・・・自主的に行動できる。素直でまじめ

<学習面>

- ・自主的に頑張ることができる
- ・協調性がある

<生活面>

- ・自分からあいさつができる
- ・自己肯定感が高まっている
- ・温かい人間関係がある

課題・・・主体性の伸長、コミュニケーション力の向上

<学習面>

- ・主体性、継続性
- ・論理的にまとめたり表現したりする力

<生活面>

- ・多様な集団の中で活躍できる力
- ・自分で解決する力

地域の実態

- ・学校を愛し、協力をいとわない地域住民・保護者が多い
- ・多くの学習「材・財」が存在する
- ・一人ひとりのニーズに対応した教育や、互いを尊重する意識の向上等、多様性に関わる課題解決を推進する必要性がある

郷土を愛し たくましく生きる子

視点1

軸となる
取組

9年間の連続性・系統性を強化した教育課程

- (1) 郷土に学ぶ教育活動の展開
 - ① 三保・折戸の良さを感じ、地域を大切にする子
 - ・ 能学習(羽衣まつり)
 - ・ 折戸なす栽培
 - ・ 地域防災訓練への参画
 - ② 地域の人と関わり主体的に学ぼうとする子
 - ・ 三保の松原清掃への参加
 - ・ あかりともるよる
- (2) たくましく生きる子どもの育成
 - ① 夢や目標に向かって、粘り強く取り組む子
 - ② 誰にでも進んであいさつできる子
 - ③ 自分の力で解決しようとする子
 - ④ 確かな学力を身に付けている子
 - ・ 基礎学力の定着

視点2

協働・交流のある教育

- (1) ふれあい高め合う異年齢交流の推進
 - ・ 中学校授業体験(五中を知る会)
 - ・ 部活動体験(入学説明会)
 - ・ 三保松原清掃(クリーンアップ羽衣)
 - ・ 児童会・生徒会の交流(小中合同挨拶運動)
- (2) 一貫意識を高める研修会の推進
 - ・ 小中合同全体研修会の実施
 - ・ ミドルリーダー会の実施
 - ・ 五中学区合同研修会(三保研)の実施
 - ・ 校内研修会への参加

視点3

地域との連携

- (1) 地域の行事や活動への積極的参加
 - ・ 羽衣まつり
 - ・ 折戸まつり
 - ・ 三保松原清掃
 - ・ 地域防災訓練
 - ・ 御穂神社祭典
 - ・ 瀬折戸神社祭典
 - ・ 青少年育成大会
 - ・ 敬老会
 - ・ 児童館、交流館、みほしるべ等、各施設との連携
- (2) 小中一貫コミュニティ・スクール
 - ・ 学校運営協議会を運営し、「地域とともにある学校づくり」を推進する。
 - ・ 各校に学校支援部会を設置し、具体的な活動に取り組む。

視点4

小中の一貫した支援・指導の実践

<生活>

自己肯定感の伸長

- ・ 児童生徒の良さや頑張りを認める声かけや認め合う場作り。

コミュニケーション能力の向上

- ・ 気持ちの良い挨拶や返事、言葉遣い。
- ・ お互いを「さん」付けて呼ぶ。
- ・ 思いをわかりやすく伝える力、相手の思いを受け止める力。
- ・ 行事の振り返りで、お互いの頑張りを確認。

<学習>

学びに向かう力の伸長

- (1) 主体的に取り組む姿勢を身に付ける。
 - ・ 児童生徒の主体性を引き出す問い(学習課題・学習問題)を設定。
 - ・ 子どもの実態や地域の素材から授業を構想。
 - ・ ICTを有効活用。
- (2) 協働的な学習の場を設定する。
 - ・ 問いは、色枠で囲み、全ての子どもが分かるように明示。
 - ・ 相談タイムの設定、ホワイトボードの活用、学習形態の工夫など。
- (3) 話す力、書く力、読む力を育成する。
 - ・ 児童生徒の発達段階や特性に応じた指導と支援。

<特別活動>

課題対応能力の伸長(解決力)

- ・ 困難を受け止め、話し合いで解決策を探る。
- ・ 継続した努力が解決につながることを体感させる。

交流活動の充実

- ・ 異年齢が交流する活動を充実させる。

<総合>

軸となる取組の意識化(系統表)

- ・ 三保、折戸学の推進
- ・ 防災教育の推進
- ・ 教材や人材について情報共有(杉山Coとの連携)

郷土愛・主体性・協働性を育む 三保・折戸学の推進